

歯車シンポジウム 『 歯車技術の現状と将来展望 』

主催：中部歯車懇話会，共催：(公社)精密工学会東海支部 / (一社)日本歯車工業会 / 中部生産加工技術振興会，協賛：愛知工研協会

自動車のEV化など歯車の今後の不透明な状況ではありますが、動力伝達における歯車やそれを担う鉄系材料は他の代替技術では実現が困難で、効率を含めた高い性能を有しており、今後もその需要は高いものと考えられます。

今回は、その歯車技術の現状と将来展望と題して、自動車用および鉄道・船舶用トランスミッションや表面改質技術について、第一線の講師をお招きして講演会を開催します。

自社のさらなる歯車技術の発展のために多数のご参加をお待ちしております。

中部歯車懇話会・会長 鈴木 義友

記

1. 日 時：平成30年 2月9日(金) 9時50分～16時20分
2. 会 場：名古屋市工業研究所 管理棟 3F 第一会議室（名古屋市熱田区六番三丁目4—41）
【地下鉄名港線「六番町」駅下車 3番出口より南へ約100m】
3. 次 第（9:50 開会）
10:00～11:10 『 自動車用トランスミッションの現状と将来展望 』
いすゞ自動車株式会社 駆動商品企画・設計部 シニアエキスパート 古賀 英隆 氏
自動車では走行性能の向上と、燃費・排ガス性能・静粛性を同時に達成しなければならない。そのために、トランスミッションが日々進化している現状を紹介する。さらに、電動化に対応する駆動系の将来像を展望する。
11:20～12:30 『 FR車用A/Tのギャノイズ低減の取組み 』
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 歯車生技部 主席研究員 松井 高公 氏
当社のFR車用A/Tの変遷と2017年より量産を開始した高級車用10速A/Tの製品設計及び歯車加工でのギャノイズ低減の取組みを紹介する。
13:40～14:50 『 鉄道・船舶用トランスミッションの歯車加工技術 』
株式会社 日立ニコトランスミッション 製造部生産技術課 江島 知樹 氏
吉沢 克弥 氏
鉄道・船舶用トランスミッションに使われる歯車の加工技術について紹介する。また、船舶用では特殊歯車であるコニカルギャが用いられており、その加工技術の変遷についても説明する。
15:00～16:10 『 歯車系摺動部材に対する窒素を活用した表面改質とその特性 』
パーカー熱処理工業株式会社 取締役 技術研究所長 渡邊 陽一 氏
自動車用歯車など摺動系部品の高寿命化を目的に、窒化・軟窒化、浸炭窒化および窒素イオン注入法について、窒化組織の形成機構や窒素の効果を解説し、窒素を利用した表面改質技術のいくつかの事例を紹介する。その上で、表面改質技術の今後の展望を述べる。
4. 定員 80名
5. 参加費：◆会員企業(共催、協賛団体会員も本会会員に準じます) 15,000円/名(資料代、昼食代を含む)
◆会員企業で2人目からは、8,000円/名(例 3名参加では 15,000+8,000+8,000=31,000円)
◆非会員企業(個人も含む) 20,000円/名(資料代、昼食代を含む)
◆学生(受付で学生証提示) 5,000円/名(資料代、昼食代を含む)
6. 資料:資料のみの販売もします。 会員企業 3,000円/冊 非会員企業 5,000円/冊 学生 2,000円/冊
7. 申込み方法：平成30年2月2日(金)までに参加費を銀行振込みして下さい。併せて、「歯車シンポジウム申込み」と題し、企業(又は学校)名、所在地、参加者名、所属、電話番号、所属学・協会名を記入しFAXして下さい。(申込み書の様式はありません。申込みFAX番号 052(661)0158)
8. 振込先:三菱東京UFJ銀行 六番町支店 口座番号・普通 1055212 中部歯車懇話会
9. 問い合わせ先：名古屋市工業研究所内 中部歯車懇話会(名古屋市熱田区六番三丁目4—41)
児島 TEL：052(654)9913, E-mail：kojima.sumito@nmiri.city.nagoya.jp